



【読書】キャラクター「おっほん」

札幌市立伏見中学校

読書センターとしての機能

■ 図書局員によるおすすめの本の紹介

- ① 放送局と連携し、お昼の放送の中で、週一回、局員が交代で本の紹介を行っています。
- ② 図書局だより「Media Center 通信」を毎月発行し、担当を決めて、毎号本を3～4冊紹介しています。
- ③ 図書局員厳選本コーナーに、局員オススメ本をPOPと一緒に紹介しています。

■ 学級文庫としての貸出

図書局員が毎月10～15冊程度を選書し、各クラスに設置して、朝読書への活用を呼び掛けています。

■ 図書館イベントの開催

図書館に足を運びきっかけとなるよう、楽しいイベントを開催しています。

6月 ALTと一緒に英語の絵本を読む会

9～10月 「海獣展」(トランクキット借用)

11月 先生方のおすすめ本紹介コーナー設置

英語で願い事を書いた星型オーナメント
をクリスマスツリーに飾ろう！

1月 本の服袋(予定)

など

学習センターとしての機能

■ 一年生への図書館オリエンテーション

図書館開館前の4月に、国語科教員と連携し、図書館の利用方法や資料の探し方等を伝えています。

■ 特別支援学級への授業時間での利用

通常の開館とは別に、週1回程度、授業時間を利用して、図書の閲覧と貸出を行っています。

■ 学校行事(教科・総合学習)や進路支援

- ・陸上競技記録会へ向けて、トレーニングや走り方等の本の展示
- ・合唱発表会へ向けて、合唱に関連する本の展示
- ・資格・検定関連の本の充実(漢検・英検等)
- ・職業・進路関係の本の充実



情報センターとしての機能

■ Google クラウドで新着本の紹介を全校生徒に配信

今年度、約400冊以上の本を購入しました。そのほとんどの新着本のあらすじやおすすめポイントなどを、4回にわたり、Google クラウドで全生徒に配信しました。お目当ての本を発見し、すぐに図書館に借りに来る生徒もいました。

■ 進路コーナーの拡充

入口付近に進路コーナーを設け、受験情報誌や入試面接関連の本と併せて、展示しています。特に3年生は昼休みや放課後に受験関連の本を閲覧する姿がありました。

